

## 開発中の“県版電子カルテ”

# 全国病院に配布へ

### 新年度予算に計上 原案に

県は二十三日、県が開発中の県版電子カルテシステムが、全国の病院に配布される見通しを明らかにした。石川嘉延知事が同日の会見で、国の来年度予算原案に、県版電子カルテを基本型にした電子カルテの開発普及事

業が盛り込まれたことを紹介し、「国が長年取り組んできた医療情報の標準化を、本県が初めて実用化にこぎ着けた。医療の前進に本県が貢献することとなり、大変意義深い」と述べた。

労働省の「標準的電子カルテ情報交換システム開発委託事業」に活用される見込み。国は現段階で本県を事業の委託先に指定している。

県版電子カルテは県が十六年度から開発に着手し、ほぼ完成した。四月からシステムのソフトウェアを県内の病院に無償配布する。今月二十三日からはモデル病院の沼津市立病院と袋井市民病院で運用を始め、本年度中にこのほかの公立二病院が導入する予定という。新年度は十一病院で導入

を見込む。

同システム開発技術委員長の木村通男浜松医科大学教授は「検査結果や処方内容、画像など客観的データは患者のものという立場で設計し

た。システム開発業者だけでなく、既存の他業者の病院システムでも運用できる」と述べ、医療の透明性の向上や医療機関の連携に役立つことを強調した。